

第2回新型コロナウイルス抗体保有率調査の結果について

令和3年2月12日
新型コロナウイルス
感染症対策担当

1 要旨

県内の市中感染の実態を把握するために実施する新型コロナウイルス抗体保有率調査の第2回の結果が判明した。

第2回の抗体保有率は、0.25%で、第1回の結果（0.13%）と比較し、若干増加している。

累積感染者数の割合（0.02%）と比較すると高い値であるが、依然として大半の人が抗体を保有していないという結果であった。

現在、第3回目の調査を行っているところであり、全体の評価については、その結果が判明後に広島大学にて行う。

2 調査結果等

(1) 調査概要

- 対象市町：5市町（広島市、福山市、三次市、東広島市及び北広島町）
- 対象者数：7,500名（住民基本台帳からの無作為抽出による）
- 調査実施機関：広島大学 大学院医系科学研究科 疫学・疾病制御学 田中 純子 教授
- 測定試薬（製造元）：Elecsys Anti-SARS-CoV-2（ロシュ）

(2) 調査結果

項目	第1回	第2回
調査期間	令和2年8月～9月	令和2年10月～11月
参加者数	3,025名	2,396名
参加率	40.3%	31.9%
抗体陽性者数	4名	6名
抗体陽性率	0.13%	0.25%
広島県累積感染者数（感染率）	8月末：458人（0.02%）	10月末：662人（0.02%）

(参考)

厚生労働省調査結果（12月）	東京都	大阪府	宮城県	愛知県	福岡県
抗体陽性率※	0.91%	0.58%	0.14%	0.54%	0.19%
累積感染者数/人口 （12/7時点）	0.316%	0.258%	0.057%	0.151%	0.120%

※ 国は、2種の測定試薬（ロシュ、アボット）の両方で陽性が確認されたものを「陽性」としている。

3 田中純子教授（広島大学）コメント

- ◆ 前回と比較すると、全体として陽性率は上がっているが、依然として大半の人が抗体を保有していない。
- ◆ 感染が急拡大した12月以前の調査結果であり、それほど拡がっていなかったと考えられる。
- ◆ 現在、3回目の調査を実施中であり、その結果が判明後に総合的に評価を行う。

4 今後の調査予定

第3回目調査：令和3年1月～2月（実施中），結果判明は3月末（予定）

(参考)

- 抗体検査は、現在の感染状態を確認できるものではありません。陽性の場合には、検査を受けるまでのどこかの時点で、ウイルスに感染したことがある可能性があることを意味します。
- 現時点で、抗体の性質（体内で抗体が作られてから消失するまでの時間や2回目の感染から守る機能があるかなど）は、確定していません。